



公益社団法人 石川県作業療法士会 ニュース

第109号 2018年12月12日 発行

『作業療法士の働き方を伝える』教育支援プラットフォーム事業 第7回 なごやか作業療法セミナーに中高生が参加

事業部部长 宮腰 真 (地域医療機能推進機構金沢病院)



10月14日(日)、なごやか作業療法セミナーを地域医療機能推進機構金沢病院にて開催した。参加者は高校生7名、中学生4名、保護者2名の13名であった。今年は新たに中学生の参加も受け入れた。入院患者さんの協力もあり盛況に終えることができた。

作業療法の魅力を直接感じられるような企画を多く用意した。今回の講義は参加型クイズ形式で楽しめるようにしたことで、少し緊張した面持ちであった中高生たちも徐々に笑顔あふれるなごやかなセミナーとなった。患者さんとの懇談会では6名の患者さんにご協力頂き、日頃の作業療法の様子を実際に見たり、聞いたりした。各種体験では障害／福祉用具、検査、アクティビティを体験した。最後に協力して頂いた患者さんに中高生達で色紙を作

り、プレゼントした。

アンケートでは中高生たち全員が作業療法への関心が高くなっていた。また、働くことについて色々と考える機会となった様子で、「作業療法士の働き方を伝える」ことを通じてキャリア教育支援が図れたのではないだろうか。さらに、「スタッフの患者さんとの接し方が優しくて素敵だった」、「スタッフの対応や笑顔が素敵だった」といった意見が多くあり、作業療法士の姿が彼らの将来の職業人、社会人としての基盤づくりの手本になることができたことが嬉しく、励みになった。

高校の進路指導担当の先生とのやり取りの中で、金沢地区以外での開催を望む声も聞かれ、当セミナーの開催場所や回数も今後検討したい。

『第32回石川県リハビリテーション風船バレーボール大会』

企画部 風船バレーボール担当理事 小池 隆行 (城北病院)



10月6日(土)、いしかわ総合スポーツセンターにて第32回石川県リハビリテーション風船バレーボール大会を開催した。この32年間、大会を続けることができたのも、ひとえに後援諸団体のご支援と県内の病院、施設のご協力のおかげであり、この場をお借りして深く御礼申し上げる。金沢大学、金城大学、金沢リハビリテーションアカデミーの各養成校からは多くの学生にボランティアとしてご協力いただき、先生方と学生の皆さんにも感謝を述べたい。また今大会から大会用風船を切り替えたが、各施設のご協力のおかげでスムーズに行うことができた。今年の大会も初出場の施設(キッズルームポテト)があり、また、毎年出場を続けている方々の元気な姿を見ることができた。

今回参加された選手166名のうち、最小年齢は13歳、最高年齢は98歳であり、疾患と障がいも脳血管疾患、統合失調症、脳性麻痺、骨関節疾患、認知症などさまざまである。そのような方々が一堂に会しルールに則って正々堂々と勝敗を競う大会は、今まさにパラリンピックがそうであるようにスポーツとしての文化である。同時に、参加する楽しみを共有する「お楽しみ部門」(交歓試合を行う部門)も設定しており、より多くの方に楽しんで頂ける事業となっている。

この風船バレーボール大会を、これからも会員一同力を合わせて継続していきたいと思う。



— 大会の概要と結果 —

参加施設：17施設、23チーム(一般部門：10 シルバー部門：5 お楽しみ部門：8)

結 果：<一般部門>

優勝：ゴールドストーン 準優勝：チームさくら 第三位：シルバーストーン
<シルバー部門>

優勝：わこうえん・やったるディ 準優勝：葉っぴい 第三位：恵寿鳩ぼっぼ

第28回石川県作業療法学会企画

テーマ「地域包括ケア時代の作業療法」(仮題)

次期学会長 村井 千賀(石川県立高松病院)

国は、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築の実現を目標に、医療・介護保険のあり様を変えつつある。

また、リハビリテーションは、単なる機能回復訓練ではなく、心身に障害を持つ人々の全人間的復権を理念として、潜在する能力を最大限に発揮させ、日常生活の活動を高め、家庭や社会への参加を可能にし、その自立を促すものとされている。

平成27年度介護報酬改定では、活動と参加に焦点を当てた報酬改定となり、さらに、平成30年度診療報酬改定では、医療・介護ともADL/IADLの自立がアウトカム指標として取り入れられた。この流れの中、(一社)日本作業療法士協会は、作業療法の定義を改正し、「作

業療法は、……作業に焦点を当てた治療、指導、援助である。作業とは、人々にとって目的や価値のある、日常生活活動、仕事、趣味などの生活行為を指す。」とADL/IADLが作業療法の本丸と位置づけられたところである。

今回、これらの動向を受け、「地域包括ケア時代の作業療法」をテーマに作業療法のあり方を、日ごろ、臨床の中で「地域」に対してアウェイ感を感じている、「作業療法って何?」、「臨床をまとめるってどういうこと」など疑問に感じたりしている皆様と、年代や職場を越えて語り合い、気づきを得る機会を提供できればと考える。



第18回東海北陸作業療法学会(福井)に参加して

中野 行賢(能美市立病院)

作業療法士として就職し、早いもので半年以上が経過した。日々の臨床に苦戦する毎日である。この度、私の地元でもある福井県で、東海北陸作業療法学会が開催された。先輩方の勧めもあり、初めて演題を持って参加させて頂くことができた。本学会のテーマは、「主体的な生活に向けての作業療法実践」だった。学会に参加し、特に感じたことを2つ述べさせて頂きたいと思う。

1つ目は、作業療法士という職業の魅力を再確認することができたということ。講演の中で、「作業療法士さんのお陰で幸せな生活を送ることができている」という対象者の生の声を聞き、作業療法士という仕事の素晴らしさと共に、そ

の役割を期待されているという責任を改めて実感した。その人にとって主体的な生活とは何かを考えて、臨床に臨みたいと思った。

2つ目は、学会等で発表を行うことが、いかに貴重な経験であるかということ。実際に発表し、準備の過程で自身の作業療法について見つめ直すこと、演題を通じて自分だけでは気づけなかった先輩方の意見を頂くことの大切さを知ることができた。また、他の方々の発表で様々な成果や考え方を聴くことは、とても良い刺激になった。

今回、学会で得た新たな知見や、先輩方から頂いた意見を振り返り、今後の臨床での自信や成長につなげて参りたいと考えている。

「いしかわ介護フェスタ」に参加して

金沢西支部 庄源 一夫 (金沢脳神経外科病院)

10月13日(土)に開催された「いしかわ介護フェスタ」に参加した。これは今後ますます進展する高齢化社会における「介護」の重要性に対する理解を深めることを目的としており、医療介護福祉に関係する様々な団体の紹介ブースや福祉機器の展示、各施設の介護スタッフによる介護技術を競う「介護グランプリ」が行われていた。また、芸人であり作業療法士の石田竜生先生がゲストとしてご講演された。県士会では毎年ブースを出展している。今年度はパネルや広報誌「COTOT」を活用した作業療法の紹介、モールアートとコグニラダーという2つの作業療法体験コーナーを設けた。来場者は幼稚園児から年配の方まで幅広く、福祉専門学校に通う外国人留学生や谷本県知事、石川県のマスコットキャラクターひゃくまんさんにも足を運んで頂いた。私は主にモールアートコーナー

の担当となり作業を通じてたくさんの参加者と交流する機会を持つことができた。100名分を用意した材料は、イベント終了2時間前になくなるくらいの大盛況であった。実際に体験していただき作業療法を知ってもらうだけでなく、多種多様な参加者が集まる場で作業療法の魅力を発信することができたように感じ、非常に有意義な一日となった。今後も地域と関わる機会を大切にし、作業療法の魅力を社会に広めていきたい。



中学校訪問報告(「作業療法士の働き方を伝える」教育支援プラットフォーム事業)

モデル事業担当理事 小池 隆行 (城北病院)

今年度当会は、日本作業療法士協会の作業療法推進モデル事業として『「作業療法士の働き方を伝える」教育支援プラットフォーム事業』に取り組んでいる。事業全体の概要やすでに行われた小学校支援、高等学校支援の各事業については総会や前号のニュースで報告されており、今回は中学校訪問について報告させて頂く。

7月から8月にかけて、中学校訪問を22校、他に電話での話や資料送付を6校に実施した。高校訪問とは異なり、卒業生に限らず、勤務先の近隣など、アンケートで訪問可能と答えて頂いた会員にお願いした。準備に手間取り余裕のない依頼になってしまったが、多くの会員にご協力いただき、

あらためて感謝申し上げます。実際にお話ししたのは教頭先生か進路担当の先生となり、概ね興味を持ってお聞きいただけたようである。中にはその場で講話の依頼を受けるケースもあり、各校それぞれで状況が異なっていた(12月1日現在、7校より講話の正式依頼あり)。

また訪問担当者から、遠方や時間を要するものには参加できないがこのような事業であればぜひ協力したい、地域の施設としてすでに中学校との関係が構築されている等のお話しもいただいた。来年度以降さらに広く協力を呼びかけ、より多くの中学生や先生方に作業療法士を知っていただく機会としたい。

<訪問を実施した中学校>

金沢市：森本、北鳴、鳴和、長田、	珠洲市：緑丘	津幡町：津幡	能美市：辰口
金石、大徳、緑、西南部、	七尾市：能登香島	内灘町：内灘	小松市：南部
額、星稜	志賀町：富来	白山市：松任、光野、鶴来、美川	加賀市：片山津

<電話で話や資料送付をさせて頂いた中学校>

金沢市：港、浅野川、小将町	中能登町：中能登	能美市：寺井	加賀市：東和
---------------	----------	--------	--------

各支部支援活動状況

能登支部

恵寿総合病院 永井 亜希子

今年度の残りの能登支部研修は3回開催予定である。

能登支部研修会として、平成31年2月16日(土) 14時より能登小牧台を会場とし、講師は寺田佳世副会長にお願いし、介護保険に比べると弱いOTが多い、総合支援法や障害者の福祉用具関連について講義をしていただく予定としている。その後は、県士会員の親睦を深め、横のつながりの連携強化や日頃の臨床を通して感じていることや疑問など聞ける場として懇親会を開催する。

平成31年2月17日(日) 9時から同じ会場にて第3回事例検討会を開催予定である。毎年、この時期の事例検討会は発表者数が非常に多いため、今年度より、第4回事例検討会の開催を決めた。日程は平成31年3月8日(金)能登総合病院にて実施する。

能登支部研修会や検討会では、毎回30名強の参加者があるが、多くの参加をお待ちしている。そして、これらの研修会で、参加者全員が意見を言い合えることを目指していきたい。



加賀支部

片山津温泉・丘の上病院 西村 幸盛

10月10日(水) 18時30分より、やわたメディカルセンターにて行った第3回事例検討会では、30名の参加者のもと東海北陸学会のプレ発表分を含め5症例の報告があった。タイトルには「役割」「自己効力感」「社会参加」といったキーワードがみられ、主体的な生活の獲得を目指し各人が奮闘している様子を伺い知ることが出来た。後半の2事例は高次脳機能障害を有する同一人物が病院から在宅に移行した

状況について、それぞれのサービス提供側からの報告があった。今回は金沢から2名の認定作業療法士を迎え、計5名の認定作業療法士よりプレゼンの技術面からOT実践の在り方まで多岐にわたるアドバイスが得られた。次回は12月12日(水)に加賀市医療センターにて第2回MTDLP事例検討会を予定している。こちらも積極的な参加を期待する。

金沢西支部

公立つるぎ病院 苗山 卓弘

金沢西支部では平成31年1月26日(土)に金沢脳神経外科病院にて研修会、第3回事例検討会を開催予定である。研修会では当会の副会長である岡田千砂氏を講師に迎え『病院で、施設で、地域で、作業療法士に必要なレクリエーションの知識と技術』を題として講義、実技をしていただく。研修会はここ数年取り組んでいるお子様連れでも参加できるように別室にモニターを用意して実施する。また、実技はお子様と一緒に参加できる形式となっている。

今回の講義は、様々な領域の方にも参考と

なる良い機会なので多くの参加を期待したい。



昨年度のお子様連れ研修会の様子

金沢東支部

金沢大学附属病院 堀江 翔

今年度第2回のMTDLP事例検討会を9月26日(水)、浅ノ川総合病院にて開催した。検討は1事例と少なかったが参加者は37名と目標の40名に近かった。会場である浅ノ川スタッフの貢献が大きいこともあり、引き続き参加の声掛けを続けていく。

事例については循環器系の問題を抱え、予後が厳しい脳卒中患者に対し、どのような環境設定で退院に向かうかの議論がなされた。MTDLP研修会では1事例に対し時間をもって多数の意見、アドバイスがいただけるので、普段悩んでいる事例でも是非発表していただき、今後の実践に繋げていただきたい。また、11月2日(金)には事例検討会を金大病院で開催し、参加者は26名、検討は5事例であった。自

動車運転評価についての発表もあり、OTへのニーズの高まりも再確認できた。今後は1月23日(水)にMTDLP、2月1日(金)に一般の事例検討会を予定しており、多数の参加を期待している。



認知症アップデート研修会(平成31年1月19日)のご案内

認知症予防推進委員会 **明福 真理子** (能美市介護老人保健施設はまなすの丘)

「認知症の人を支援するなら作業療法士」。先日他職種からかけていただいた嬉しい言葉である。

2015年1月に発表された『新オレンジプラン』を受け、日本作業療法士協会では『認知症の人の生活推進委員会』を中心に全都道府県でのアップデート研修の実施およびモデル研修の支援により、認知症に対するOTの情報・スキル向上を更に推進している。更にこれらの研修シラバスを精査することで認知症に関する現教育制度との整合性を図り、会員にとって学びやすい環境の構築のための提案を行っていくことを目指している。働く領域・経験年数に関わらず、全ての作業療法士が認知症

についての基本的な理解と評価・治療技術を身につけることが求められているのである。

10月27日(土)、10月28日(日)『認知症作業療法推進委員会議』に参加し、昨年度の他都道府県での取り組みを聞くことができた。今年度もこの研修会をアップデートされた内容で開催予定である。昨年度開催した認知症アップデート研修には80名の参加があった。今年度は以下の日程で開催予定である。昨年を上回る会員皆さまの参加をお願いしたい。

平成31年1月19日(土)
13時受付開始～17時終了予定
会場：金沢勤労者プラザ101号室

地域包括ケアシステムで活躍する作業療法士育成研修会 ～作業療法士の専門性を、知って、語って、活用してもらうために～を開催

地域包括ケアシステム推進委員会 担当理事 **村田 明代** (芦城クリニック)

(一社)日本作業療法士協会では、地域包括ケアシステムの構築が進む中、それぞれの市町が実施する地域ケア会議や総合事業、リハ職の活用事業などで活躍できるOTの育成のため、各士会で人材育成研修会の開催を推進し、当士会でも、昨年度から健康福祉部と地域包括ケアシステム推進委員会との共同で開催している。今年は11月10日(土)、11月11日(日)に、石川県リハセンターにて、上記の研修会を開催した。今回は、協会の地域包括ケアシステム推進委員会委員長の三浦晃氏を講師に招き、制度の理解とOTへの期待や役割、他職種と共働する際の活躍のしどころやOTニーズを増やすためのアクションなどの講義の後、地域ケア会議での助言を模擬事例を通じてグループで検討した。三浦先生は、助言者は明日から

役立つように具体的かつ平易な言葉で簡潔にまとめて助言することを意識し、「このOTにまた相談したい」と思われる助言を多く出すことが役割と話され、他職種との連携におけるOTの役割を共有する機会となった。

石川県では市町の地域支援事業に関与するリハ専門職の協力者としてより多くのOTの活躍が期待されている。ぜひ、地域包括ケアシステム関連の研修会への参加、事業への協力をお願いしたい。



平成30年度 公益社団法人石川県作業療法士会

◆◆◆第3回 理事連絡会 議事録◆◆◆

1. 日時・場所：平成30年9月19日(水) 19時～21時 西泉事務所
2. 出席：東川、寺田、岡田、麦井、安本、大西、小池、村田、渡邊、明福、寺尾、河野、米田、白山、中森、桂(理事16名) 堀江、永井(支部長2名)、山本恭、山下(書記2名)
3. 議事 第1号議案 各部・委員会・各支部事業経過報告
 - 【教育部】次年度の現職者共通研修講師の検討継続。
 - 【病院医療部】県外講師の宿泊費について質問あり。規程遵守を継続することで了承。
 - 【運転と作業療法】OT協会事業の『出張講座』『施設見学』に応募。
 - 【表彰委員会】第47回医療功労賞(主催：読売新聞)への応募に間に合わず次年度へ延期。
 - 【事務局】東海北陸リーダー研修会参加者を決定。次年度の当県開催に向けて準備を開始。

◆◆◆第3回 理事会 議事録◆◆◆

1. 日時・場所：平成30年11月15日(木) 19時～19時30分 西泉事務所
2. 出席：東川、寺田、岡田、麦井、安本、大西、小池、村田、渡邊、明福、高多、川上、白山、中森、桂(理事15名) 後出氏、進藤氏(監事2名) 西村、堀江、苗山、永井(支部長4名) 山本詩、山下(書記2名)
3. 議事 第1号議案 平成30年度補正予算について
 - 【財務】研修会収入は当初予算よりやや低め。支出では今年度より事業終了毎の支給となった会議費は大きな増加無し。東海北陸OT学会積立を今年度より開始。若年会員の教育の充実を図る。今後の追加予算として『自動車運転』『災害支援』に関する視察・勉強会等。承認。

◆◆◆第4回 理事連絡会 議事録◆◆◆

1. 日時・場所：平成30年11月15日(木) 19時40分～21時40分 西泉事務所
2. 出席：東川、寺田、岡田、麦井、安本、大西、小池、村田、渡邊、明福、高多、川上、白山、中森、桂(理事15名) 西村、堀江、苗山、永井(支部長4名) 山本詩、山下(書記2名)
3. 議事 第1号議案 各部・委員会・各支部事業経過報告
 - 【在宅支援部施設事業】平成30年度診療報酬・介護報酬改定研修日程等について検討。
 - 【PT・OT・ST連絡会】羽咋市で平成31年1月27日に開催予定のシンポジウムについて内容報告。
 - 【企画部】次年度の風船バレーボール大会日程について検討。
 - 【事業部】今年度OT協会のモデル事業として開催した親子体験事業を次年度以降も継続。能登支部では次年度に向けてのキックオフ会議実施済み。
 - 【広報部】広報誌『COTOT』2号の内容を検討。
 - 【執行部】次年度の東海北陸リーダー研修会準備について日程・場所を検討。
 - 【事務局】OT協会との会員登録統合について。理事全員一致で統合に向けて検討していくことを決定。

『会員名簿』は今年度より廃止しました

個人情報保護に関する意識の浸透に伴い、本会においても、長らく発刊して参りました紙媒体による名簿の発刊廃止が平成30年度第2回理事連絡会において理事全員一致で承認されました。

つきましては、本年度より『会員名簿』を廃止しましたのでご了承ください。

今後は(一社)日本作業療法士協会Web版『会員所属名簿』をご利用頂きますようお願い致します。

インフォメーション 研修案内

認知症アップデート研修会

日時 1月19日(土) 13時~受付
場所 金沢勤労者プラザ

支部研修会

金沢西支部 1月26日(土) 金沢脳神経外科病院
能登支部 2月16日(土) 国民宿舎小牧台

MTDLP事例検討会

金沢東支部 1月23日(水) 松原病院
加賀支部 2月13日(水) 小松市民病院
金沢西支部 2月27日(水) 岡部病院

事例検討会

金沢西支部 1月26日(土) 金沢脳神経外科病院
金沢東支部 2月1日(金) 金沢大学附属病院
能登支部 2月17日(日) 国民宿舎小牧台
能登支部 3月8日(金) 能登総合病院

診療報酬・介護報酬改定研修会

「知っておかなければならない、今おさえておかなければならない改定ポイント」

日時 3月16日(土) 13時~受付
場所 金沢市ものづくり会館



KINJO UNIVERSITY

社会福祉学部
社会福祉学科
子ども福祉学科

医療健康学部
理学療法学科
作業療法学科

看護学部
看護学科

大学院
総合リハビリテーション学研究科
総合リハビリテーション学実践研究科(修士課程)

金城大学 医療健康学部 理学療法学科/作業療法学科
全国でもトップクラスの国家試験合格率と100%の就職率！
幅広い知識と実践力を持つ医療・福祉のリーダーを養成し、地域の健康を支えています。

金城大学 入試広報部 金城大学ホームページはこちらから▶▶▶

☎ 0120-276-150 E-mail: nyushi@kinjo.ac.jp
TEL: 076-276-5175(総機) FAX: 076-275-4316

「金城大学」をフォローして最新情報をチェックしよう！

(空閑キャンパス) 〒924-8511 石川県白山市空閑町1200番地 (松任キャンパス) 〒924-0865 石川県白山市金丸1丁目250番地 (弘文館石川中央棟前)



在宅ならではの深い関わりが持てる!!
「退院後の人生を支えたい」そんな想いで介護の業界に入りました。お客様とじっくり関われる今の環境にやりがいを感じています。

デイサービス 太田のリゾート白山
管理者(作業療法士) 中富 博久

↓こちらの事業所で募集中です↓

金沢市、野々市市、白山市の
◆デイサービス ◆訪問リハビリ(有料老人ホーム内勤務)

正社員 月給…270,000円～、時間…8:30～17:30または 9:00～18:00
休日…週休2日(シフト制)、賞与年2回、社会保険完備、退職金あり

パート 時給…2,000円～、時間…1日2時間以上
勤務…1ヶ月の勤務回数店相談、労災あり ※時間に応じて雇用保険・社会保険加入

共通 昇給年1回、交通費あり、各種資格手当、日/祝出勤手当、OJT制度

 株式会社 サンウェルズ SUNWELLS GROUP 金沢市、白山市を中心に16ヶ所の介護施設を運営しています。
<お問合せ> 株式会社サンウェルズ本社 人事部: 東(ひがし) ☎076-272-8982

賛助会員名簿 (順不同)

A会員

社会医療法人財団董仙会
学校法人 金城学園

B会員

学校法人センチュリー・カレッジ
社会福祉法人徳充会青山彩光苑
特定医療法人社団勝木会
学校法人阿弥陀寺教育学園
医療法人社団和宏会

C会員

粟津神経サナトリウム
石川県済生会金沢病院
石川県リハビリテーションセンター
医療法人社団浅ノ川浅ノ川総合病院
医療法人社団浅ノ川金沢脳神経外科病院
医療法人社団浅ノ川桜ヶ丘病院
医療法人社団浅ノ川千木病院
医療法人社団映寿会
医療法人社団さくら会森田病院
医療法人社団慈豊会
医療法人社団丹生会
医療法人社団生会えんやま健康クリニック
医療法人社団千木福久会
医療法人社団扇寿会
医療法人社団長久会
医療法人社団同朋会
医療法人社団中田内科病院
医療法人社団洋和会
医療法人社団輪生会

医療法人積仁会
金沢医科大学病院
独立行政法人地域医療機能推進機構金沢病院
金沢赤十字病院
公立穴水総合病院
公立宇出津総合病院
社会福祉法人篤豊会
公益社団法人石川勤労者医療協会城北クリニック
公益社団法人石川勤労者医療協会城北病院
珠洲市総合病院
芳珠記念病院
医療法人社団博洋会
医療法人社団持木会 柳田温泉病院
医療法人社団博友会
医療法人社団光仁会
宇野酸素株式会社
金沢義肢製作所
株式会社トータルシステム
株式会社トミキライフケア
株式会社半田
株式会社ヤマシタコーポレーション金沢営業所
セントラルメディカル株式会社
三星自動車販売株式会社
株式会社メディベック
株式会社サンウェルズ

D会員

医療法人社団あいずみクリニック
有限会社さわやか金沢
東洋羽毛北信越販売株式会社

新入会員名簿

勤務先	氏名	勤務先	氏名
加賀市医療センター	辻原 早希	森田病院	秋月 唯奈
加賀市医療センター	山本可南子	国立病院機構 金沢医療センター	大潤 由衣
加賀市医療センター	鈴木 弥生	なないろ訪問看護ステーション	越石 康太

会員動向

石川県作業療法士会会員 809名(平成30年11月現在)
認定作業療法士 31名(平成30年11月現在)
専門作業療法士 福祉用具2名 高次脳機能障害1名
認知症1名 手外科1名(平成30年11月現在)



編集後記

平成最後の年末を迎えている。クイズ番組でも平成を過去(歴史)問題のように取り扱われることがある。別の新しい時代に代わってしまうような感じがし若干戸惑う事がある。記憶に障がいのある方の苦勞を思い返す。新しい時代には、いろんな課題が山積みで困難なことも多いが、現実や周辺環境をみながら、一人一人が主人公となり生活を愉しむための支援をこころがけていきたい。

公益社団法人石川県作業療法士会ニュース 年4回発行

編集担当：米田貢、明福真理子、白山武志、酒野直樹、横川菜美、杉浦有子、藤田隆司、川口朋子、
寺井利夫、太田哲生、岩田望、網谷郁美、西谷早紀、越仲共子、山梨珠美、南朱音、上野玲子

発行所：公益社団法人 石川県作業療法士会

〒921-8043 石川県金沢市西泉3丁28-1 東和第3ビル201 Tel 076-259-0678

発行人：東川哲朗 印刷：ヨシダ印刷株式会社